

科目名	就職ガイダンス/就職活動講座		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	A,B,C組 全専攻		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間 90 分	
期	修 得 目 標				
5期	主体性を持って就職活動を進める上で必要な知識を修得する。				
6期	活動の幅を持って就職内定を勝ち取る為のスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス 就職活動状況について/就職活動計画の見直し			
2	4月23日	受験促進、労働条件について(賃金、時間)/自己PR、志望動機作成練習			
3	5月7日	面接のポイント①/面接対策実践①			
4	5月21日	OB講話 ※OB来校/応募書類について			
5	5月28日	企業講話 ※企業人事担当者来校 / メールを送り方、オンライン面接について			
6	6月4日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/作文対策①			
7	6月11日	企業研修について/作文対策②			
8	6月18日	OB講話 ※OB来校/履歴書作成練習			
9	6月25日	受験促進、東京企業について/自己PR、志望動機作成練習			
10	7月2日	企業講話 ※企業人事担当者来校/就職活動計画の見直し			
11	8月20日	面接のポイント②/面接対策実践②			
12	8月27日	受験促進、企業情報の提供(各業種)/受験の流れ確認			
評価方法	3分の2以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	12回中5回の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	斎藤 忠貞	
講師実務経験	元放送局勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	ビジュアルクリエイイト専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	<p>日常のニュースの詳細とその背景を考える。また、あらゆる分野について現状分析と問題点を理解し修得する。</p>				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	ガイダンス。ニュースの分析。			
2	4月20日	感染症について考える。コロナの行方。			
3	4月27日	エネルギー政策①(原子力について)。			
4	5月11日	エネルギー政策②(CO2削減について)。			
5	5月18日	エネルギー政策③(新エネルギー)。			
6	5月25日	JASRAC(著作権問題)①			
7	6月1日	JASRAC(著作権問題)②			
8	6月8日	自然災害と対策①			
9	6月15日	自然災害と対策②			
10	6月22日	人口論と食料自給率①			
11	6月29日	人口論と食料自給率②			
12	7月6日	これまでのまとめ。試験対策。			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価				
	平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	舞台音響技術概論Ⅱ		担当講師	梶野 泰範/千葉 諭	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 270 分	
期	修 得 目 標				
5 期	舞台機構調整作業筆記試験、実技試験の科目毎に理解を深め、習得する				
6 期	舞台機構調整作業試験を振り返り、現場に活かせる確かな知識としてまとめ上げる				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月12日	「電気」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の概要説明、練習			
2	4月19日	「舞台一般の知識、劇場・舞台の種類、歴史」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
3	4月26日	「音響の基礎知識、音の物理的知識、聴覚に関する知識」を復習し、習得する / 実技試験の練習			
4	5月10日	「舞台機構設備」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
5	5月17日	「照明設備、映像設備」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
6	5月24日	「音源の基礎、声、楽器、音楽」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
7	5月31日	「音響機器の種類、構造、機能及び用途」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
8	6月7日	「音響機構調整法」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
9	6月14日	「関係法規」「安全衛生」に関する知識を復習し、習得する / 実技試験の練習			
10	6月21日	模擬試験を実践的に行う①			
11	6月28日	模擬試験を実践的に行う②			
12	7月5日	模擬試験を実践的に行う③			
13	8月23日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める①			
14	8月30日	現場目線からの国家資格「舞台機構調整技能士」を検証し、現場での応用、実例について理解を深める② / 定期試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	84 時間中 29時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	ローディー実習Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	キーボードの基本セッティング、実践的な楽器の転換作業を修得する。				
6期	4リズムの総合的なセッティング、メンテナンスを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4/13.4/20	Drヘッドの交換、チューニング、メンテナンス	ギター、ベースの弦交換、メンテナンス		
2	4/27.5/11	Drヘッドの交換、チューニング、メンテナンス	ギター、ベースの弦交換、メンテナンス		
3	5/18.5/25	楽器小物類について	電源と感電対策、テスターの使い方について		
4	6/1.6/8	KEYBOARDについてと基本セッティング、操作方法			
5	6/15.6/22	実践的な楽器周りの転換作業			
6	6/29.7/6	4リズムの基本的な演奏			
7	8/25.8/31	DJセットのセッティング、操作方法	試験対策		
評価方法	B評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	機材メンテナンス I		担当講師	小林 雅和	
講師実務経験	元広告代理店勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	メンテナンスの基本である「はんだ付け」の技術を磨く。実際にケーブルやコネクタの保守・メンテナンスの実践を通じてスキルを修得する。				
6期					
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日 4月20日	オリエンテーション。メンテナンスの必要性・役割とは。			
2	4月27日 5月11日	はんだごての扱い方、注意点等。			
3	5月18日 5月25日	キャノンコネクタケーブル作成①			
4	6月11日 6月8日	キャノンコネクタケーブル作成②			
5	6月15日 6月22日	フォンコネクタケーブル作成①			
6	6月29日 7月6日	フォンコネクタケーブル作成②			
7	8月24日 8月31日	まとめ。試験対策			
評価方法	評価方法B 定期試験点数(30%)、実技習得度(70%) 平常点±10点(出席率、授業態度・取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	42時間中15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	機材概論Ⅱ		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態 講義
期 間	5期・6期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
5期	パワーアンプ、スピーカーに関する各スペックについて修得する。				
6期	音響機材全般に関する知識を幅広く修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月13日	授業ガイダンス アンプのスペックについて			
2	4月20日	スピーカーのスペックについて			
3	4月27日	FOH、MONITORスピーカーのチューニングについて			
4	5月11日	レベルメーターについて GAINの取り方について			
5	5月18日	MIXバランスについて			
6	5月25日	モニターバランスについて			
7	6月1日	電気の知識について			
8	6月8日	EQを使用したサウンドメイクについて			
9	6月15日	デジタル伝送について			
10	6月22日	エフェクターについて			
11	6月29日	ワイヤレスマイク、イン・イヤー・モニターについて			
12	7月6日	現場における様々な機材について (zepp等)			
13	8月24日	定期公演に向けて			
14	8月31日	試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	時間中 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	PA実習ⅢA		担当講師	千葉 諭	
講師実務経験	音響フリーエンジニア				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	音響システムの知識の向上と、作業の効率化について修得する				
6期	様々な現場状況を想定し、実践的な知識や技術を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日	モニター卓の基礎 2班 ・システムやプランニング、開始から終了までの一連の作業について			
2	4月21日	モニター卓の基礎 1班 ・同上			
3	4月28日	スピーカーのチューニング 2班、1班(AM/PM入れ替え) ・FOHとの関係を考慮し、適切で効果的なチューニングや、ハウリング対策について			
4	5月19日	スピーカーのチューニング 1班、2班(AM/PM入れ替え) ・同上			
5	5月26日	モニター卓のプランニングと、サウンドメイクについて 2班 ・Stageplot、Inputを把握し、機材の選定、適切で迅速な作業について			
6	6月2日	モニター卓のプランニングと、サウンドメイクについて 1班 ・同上			
7	6月9日	シュミレーション① 2班 ・実践的な一連の作業を行う。また、その際に発生した課題とその対策について			
8	6月16日	シュミレーション① 1班 ・同上			
9	6月23日	シュミレーション② 2班 ・前回と同じ			
10	6月30日	シュミレーション② 1班 ・同上			
11	8月18日	実技修得度の確認と定期試験対策 2班			
12	8月25日	実技修得度の確認と定期試験対策 1班			
評価方法	B評価 定期試験(筆記試験)30%、実技修得度70%で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	プリント配布				
注意事項	36時間中13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習ⅢB		担当講師	斎藤 康次	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	ライブイベントを通して、実践的なオペレート技術、ステージ転換作業を修得する。				
6期	エンジニアとして、現場を成立させる事が出来る実践力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月14日 4月21日	授業ガイダンス デジタルコンソールの確認 トラブルシューティング			
2	4月15日 4月22日	COMP/GATEを使用したMIXバランス トラブルシューティング			
3	4月28日 5月19日	4/28モニターシステムについて(AM/PM入れ替え) 5/19新歓ライブの反省会(AM/PM入れ替え)			
4	5月6日 5月20日	スピーカーチューニング			
5	5月26日 6月2日	MIXバランスについて モニターバランスについて LIVE実習の仕込み			
6	5月27日 6月3日	LIVE実習①、②			
7	6月9日 6月16日	イコライジングについて 前回LIVE実習の検証と修正			
8	6月10日 6月17日	LIVE実習③、④			
9	6月23日 6月30日	様々なエフェクターの活用について 前回LIVE実習の検証と修正			
10	6月24日 7月1日	LIVE実習⑤、⑥			
11	8月18日 8月25日	総合的なPA技術について 実技テスト			
12	8月19日 8月26日	定期公演に向けて			
評価方法	B評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中 25時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				

科目名	音響基礎実習		担当講師	田上 涼	
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
期 間	5期・6期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
5期	PAとしての知識と技術を復習し、基礎を確実に修得する				
6期	転換イベントに向けた転換技術の修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日 4月22日	授業ガイダンス、ケーブル巻きと引き回し方			
2	5月6日 5月20日	マルチ関連の活用法、INPUTとOUTPUTについて			
3	5月27日 6月3日	スピーカーシステムの組み方と卓操作の仕方			
4	6月10日 6月17日	GEQ、REVの結線の仕方と各OUTの使用法			
5	6月24日 7月1日	実技テスト、定期公演転換について①			
6	8月19日 8月26日	定期試験対策、定期公演転換について②			
評価方法	B評価 定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技修得度評価時期・方法:最終回に修得度確認作業あり				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音響概論Ⅲ		担当講師	田上 涼	
講師実務経験	ライブハウス勤務				
対象学年	2 学年	対象専攻	サウンド・ステージ専攻		授業形態
講義					
期 間	5期・6期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
135 分					
期	修 得 目 標				
5期	新入生歓迎ライブを行う上での資料作り、打ち合わせ方法を修得する				
6期	定期公演に向けてKISSホール以外でのイベントを作り上げられる知識、技術を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス、新入生歓迎ライブ準備①			
2	4月23日	新入生歓迎ライブ準備②			
3	5月7日	新入生歓迎ライブ準備③			
4	5月21日	新入生歓迎ライブ反省会			
5	5月28日	定期公演概要説明、ポジション決め			
6	6月4日	定期公演準備①			
7	6月11日	定期公演準備②			
8	6月18日	定期公演準備③			
9	6月25日	定期公演準備④			
10	7月2日	定期公演準備⑤			
11	8月20日	定期公演準備⑥			
12	8月27日	定期公演準備⑦、定期試験対策			
評価方法	A評価 定期試験(筆記試験)の素点で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)				